

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、緩やかに持ち直している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、増加している。設備投資は、増加している。個人消費は、一部に弱めの動きもみられるが、底堅く推移している。住宅投資は、下げ止まっている。この間、生産は、持ち直しの動きが足踏みしている。雇用・所得環境は、改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、前年を上回っている。

2. 需要項目別の動向

(1) 公共投資 …… 増加している

10月の公共工事請負金額は、国などの発注が減少したものの、県や市町村などの発注が増加し、前年を上回った。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2023年 12月	2024年 3月	6月	2024年 8月	9月	10月
山形県	▲24.8	▲19.3	▲3.2	11.2	11.8	61.8

〈資料〉東日本建設業保証(株)

(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの(以下同じ)。

(2) 設備投資 …… 増加している

9月短観における2024年度の設備投資計画(全産業)をみると、製造業、非製造業とも増加し、前年度を上回る計画となっている。

この間、9月の建築着工床面積(民間非居住用)は、運輸などが減少したものの、製造業、教育・学習支援などが増加したため、前年を上回った。

(図表2) 県内企業の設備投資額(2024年9月山形短観) 前年度比、%

山形県	2022年度(実績)	2023年度(実績)	2024年度(計画)
全産業	▲16.9	▲4.4	14.6<▲2.4>
製造業	100.8	▲5.5	21.4<▲3.4>
非製造業	▲61.2	▲2.1	1.5<0.1>

〈資料〉日本銀行山形事務所

()内は前回調査比修正率、%

(図表3) 建築着工床面積(民間非居住用) 前年比、%

	2023年 12月	2024年 3月	6月	2024年 7月	8月	9月
山形県	105.5	▲61.7	144.0	133.9	68.3	10.5

〈資料〉国土交通省

(3) 個人消費・・・一部に弱めの動きもみられるが、底堅く推移している

9月の販売額をみると、百貨店・スーパー（全店ベース）は、前年を上回った。ドラッグストアは、42か月連続で前年を上回った。コンビニエンスストアとホームセンターは、前年を下回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2024年 1~3月	4~6月	7~9月	2024年 7月	8月	9月
全店	2.6	0.3	0.3	▲3.4	2.9	1.2
既存店	0.6	▲0.6	▲0.7	▲4.3	2.0	0.2

〈資料〉経済産業省

10月の乗用車新車新規登録・届出台数は、前年を下回った。

(図表5) 乗用車新車新規登録・届出台数 前年比、%

山形県	2023年 12月	2024年 3月	6月	2024年 8月	9月	10月
乗用車 合計	9.2	▲28.7	▲6.4	▲5.6	5.2	▲2.1
普通車	18.3	▲13.8	▲7.2	▲14.3	6.4	12.6
小型車	1.1	▲50.3	▲23.6	▲10.6	▲7.3	▲6.4
軽四輪	6.5	▲27.4	6.7	6.3	12.7	▲11.4

〈資料〉東北運輸局

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に回復している。

(4) 住宅投資・・・下げ止まっている

9月の新設住宅着工戸数は、分譲が減少したものの、貸家が増加したため、前年を上回った。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2023年 12月	2024年 3月	6月	2024年 7月	8月	9月
山形県	▲30.5	9.2	▲8.2	25.3	9.8	5.3
持家	▲20.2	▲11.3	13.9	1.3	▲11.0	0.0
貸家	▲9.8	152.9	114.1	80.1	88.1	16.1
分譲	▲64.1	▲47.6	▲87.8	▲37.5	▲32.4	▲2.9

〈資料〉国土交通省

3. 生産・・・持ち直しの動きが足踏みしている

8月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月を下回った。業種別にみると、金属製品、汎用・生産用・業務用機械など9業種で上昇したものの、化学、電子部品・デバイスなど13業種で低下した。在庫指数（季節調整済）は、前月を上回った。

（図表7）鉱工業指数

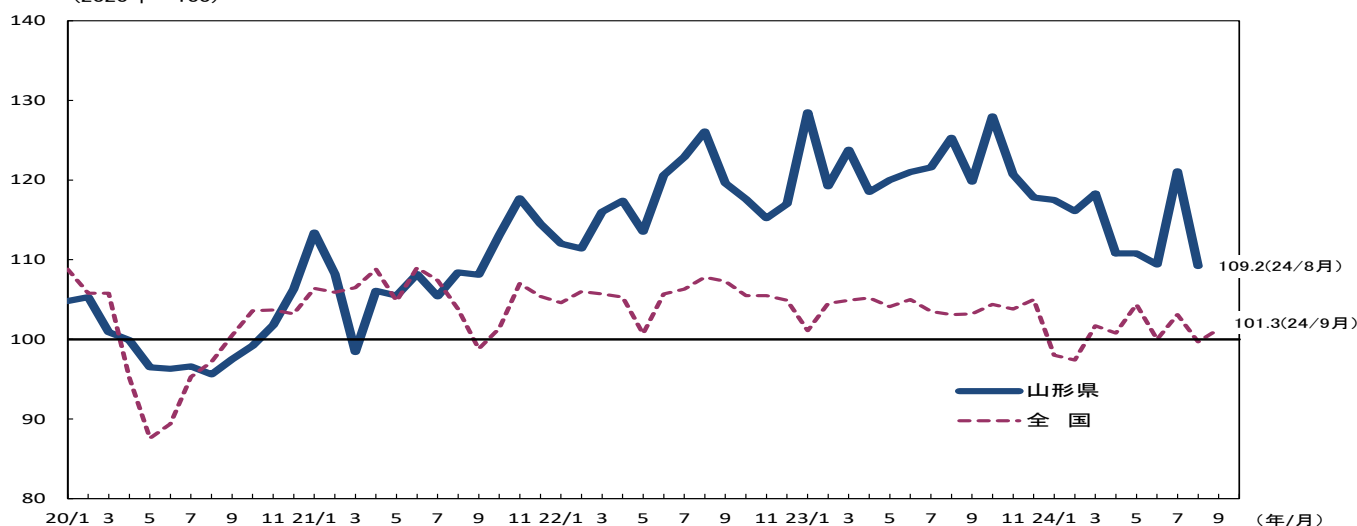
2020年基準

山形県		2023年 9月	12月	2024年 3月	2024年 6月	7月	8月
生 産	季節調整済前月比%	▲4.4	▲2.4	1.9	▲1.3	10.7	p ▲9.8
	原指数前年比%	▲2.1	▲3.5	▲8.3	▲13.2	3.7	p ▲14.6
在 庫	季節調整済前月比%	▲3.6	1.4	5.4	▲2.5	2.1	p 0.4
	原指数前年比%	▲0.4	9.4	8.4	▲3.0	▲0.2	p ▲4.1

〈資料〉山形県

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移

（2020年＝100）



〈資料〉経済産業省、山形県

4. 雇用・所得環境・・・改善している

9月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.37倍となった。業種別の新規求人数をみると、卸売・小売、医療・福祉などが減少した一方、情報通信などが増加した。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%

山形県	2024年 1～3月	4～6月	7～9月	2024年 7月	8月	9月
有効求人倍率	1.32	1.28	1.37	1.30	1.37	1.37
完全失業率	2.1	1.7	n. a.	—	—	—

〈資料〉総務省、山形労働局

（注）有効求人倍率の四半期データは、四半期末の水準。

8月の常用雇用指数、所定外労働時間は前年を上回った。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2) 2020年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2023年 9月	12月	2024年 3月	2024年 6月	7月	8月
常用雇用指数	0.5	1.3	1.1	▲0.1	0.3	0.2
所定外労働時間	▲12.3	▲10.1	▲9.5	6.3	6.0	4.3

<資料>山形県

8月の現金給与総額(名目賃金指数)、きまって支給する給与ともに、前年を上回った。

(図表 11) 所得関係指標 2020年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2023年 9月	12月	2024年 3月	2024年 6月	7月	8月
現金給与総額 (名目賃金指数)	1.3	5.2	0.3	4.9	5.4	2.0
きまって支給 する給与	0.2	0.9	1.3	1.6	3.8	4.3

<資料>山形県

5. 企業倒産・・・低水準ながら前年比増加

10月の企業倒産(負債額10百万円以上)は7件、負債総額は33.4億円となった(前年同月は3件、0.8億円)。

(図表 12) 企業倒産 件、億円

山形県	2023年 12月	2024年 3月	6月	2024年 8月	9月	10月
件数	5	13	6	7	6	7
負債総額	17.3	13.2	4.7	28.0	4.5	33.4

<資料>(株)東京商工リサーチ

6. 物価・・・前年を上回った

9月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回った。

(図表 13) 消費者物価指数 2020年基準、前年比、%

山形市	2023年 12月	2024年 3月	6月	2024年 7月	8月	9月
総合	3.5	3.5	3.4	2.9	3.5	2.9
生鮮食品を除く総合	3.1	3.3	3.1	2.9	3.1	2.8

<資料>山形県

7. 金融

9月の県内預金(銀行+信用金庫)は、概ね前年並みで推移している。県内貸出(銀行+信用金庫)は、前年を上回った。この間、貸出金利は横ばい圏内で推移している。

(図表 14) 預金、貸出金 %

山形県	2023年 12月	2024年 3月	6月	2024年 7月	8月	9月
実質預金+CD (末残前年比)	0.5	0.2	0.3	▲0.1	0.2	▲0.5
貸出金 (末残前年比)	3.5	4.6	4.3	4.2	4.2	3.4

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利 %ポイント

山形県	2023年 10~12月	2024年 1~3月	4~6月	2024年 6月	7月	8月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.003	0.000	0.018	▲0.001	0.003	▲0.001

8月末水準
0.886%

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

(内容に関するお問い合わせ先)
 日本銀行山形事務所
 TEL: 023-622-4004